

平成22年度 第12回安城市定例教育委員会会議録

日 時 平成23年2月17日（木）午後1時30分

場 所 安城市歴史博物館 講座室

出席した委員 杉浦辰子 委員長  
鳥居勇夫 委員長職務代理者  
大見 宏 委員  
榊原ちさと 委員  
本田吉則 教育長

出席した職員 石川義彦 教育振興部長  
都築昭彦 生涯学習部長  
神谷敬信 生涯学習部次長兼生涯学習課長  
平岩八尋 総務課長  
杉山春記 学校教育課長  
岩瀬慎次 給食課長  
杉浦講平 体育課長  
加藤喜久 中央図書館長  
杉山洋一 文化財課長  
岩間純子 子ども課主幹  
宮川 守 総務課課長補佐

傍聴者 なし

開 会 午後1時34分

日 程

第 1 前回会議録の承認

平成23年2月3日開催の定例教育委員会会議録を承認

第 2 委員長、教育長等の報告

<委員長>

2月 9日 西三河委員長・教育長会議（岡崎市）

西三河地方教育事務協議会

2月13日 明治用水緑道市民駅伝大会

<教育長>

2月 4日 新規採用教員面接

- 2月 7日 三河部都市教育長協議会（刈谷市）
- 2月 8日 市教育センター企画運営委員会  
現職教育常任委員会
- 2月 9日 西三河委員長・教育長会議（岡崎市）  
西三河地方教育事務協議会
- 2月10日 シルバーカレッジ卒業式・修了式
- 2月13日 明治用水緑道市民駅伝大会
- 2月14日 定例校長会
- 2月15日 市長就任式  
市幹部会議
- 2月16日 第2回校長面接

以上に出席しました。

### 第 3 議 題

#### 第12号議案 安城市教育委員会表彰について

第12号議案について学校教育課長説明する。

鳥居委員：20年は安城市内の学校に勤務した年数ですか。

学校教育課長：安城市内に通算して20年勤続をした者ということです。

今回該当者はいませんが、たとえば県教委へ勤務していたとか、あるいは附属の学校へ勤務していたとか、そういう期間は除かれますので市内の勤務を合算して20年で表彰しています。

委員長：人事交流で小学校の経験も中学校の経験もある方が多いですね。異動の際配慮されてみえるのですか。

学校教育課長：愛知県の場合は小学校と中学校の人事交流を盛んに行なっている実情があります。安城市もそれに準じてできるだけ小学校、中学校の人事交流を行っています。ただし、小学校免許だけとか、中学校免許だけとか、そういう方も中にはみえますので、そういう方々については例外です。

（全員異議なし了承）

#### 第13号議案 平成23年度幼稚園の指導方針について

第13号議案について子ども課主幹説明する。

鳥居委員：幼稚園と保育園は同じ年齢の子を扱うわけですね。基本的には教育委員会が関係しているのは幼稚園ですが、保育園と似たところが随分多いと思います。幼稚園と保育園の指導方針の中で、具体的に違うところがありますか。

子ども課主幹：幼稚園は3歳から5歳の子で、保育園は0歳児からいます。幼稚園はお母さんが働いてみえないということで、家庭での安定が基礎にあつての教育になります。保育園には、働く親を支援するという部分が役割にあり、養護面での援助が加わります。子ども自身の安定度に違いがあることが指導方針の違いになってくるとと思います。保育内容そのものに大きな差はないと思いますが、その援助の中での配慮の違いがあると思います。

鳥居委員：読み書きは差がありますか。接近していますか。

子ども課主幹：接近していると思います。子どもたちは遊びながらいろいろなことを覚えていきます。文字を書くことや数字を覚えることも遊びの中で覚えていきますので、大きな変わりはないと思います。

大見委員：指導の重点に「園経営」と「園児の指導」がありますが、私は最近、保護者の指導が必要なケースがたくさんあると思います。これを幼稚園が行なうべきかという問題はあると思いますが。「園経営」に家庭教育を支援するための情報提供や相談などを実施するとありますが、そういった観点も場合によってはもう少し入れて、幼稚園だけの教育ではどうしても足りないことがあったり、あるいは、それ以上に家庭での教育が全然なっていないとか、そういう親が結構いると思いますので、保護者に対する何らかのアプローチもあってもいいのかなと思います。

子ども課主幹：ありがとうございます。そのことを参考にさせていただきます。園では保護者に対し理解を得られるように指導はしていますが、明確な表現になっていませので検討したいと思います。

教育長：指導については、教育相談などを通じて保護者とコミュニケーションを図り、その中で指導していく機能を幼稚園が果たしていることが園経営の中に表されていると思います。

(全員異議なし了承)

#### 第 4 報告事項

(1) 平成22年度卒業式の祝辞について

報告事項(1)について学校教育課長説明する。

委員長：中学校の祝辞の5行目ですが、「様々な経験の積み重ねて」とありますが、「様々な経験を積み重ねて」ではありませんか。

学校教育課長：ご指摘のとおりです。ありがとうございます。

大見委員：小学校の最後の方の「自分の可能性に挑戦して行ってください」や「たくましい心と体をつくり上げて行ってください」の「行って」が気になります。言葉としては「行って」がなくてもつながると思います。「行って」は将来に向かってのことだからいいのかもしれませんが。中学校の真ん中にも「大切にしていってください」とありますが、「大切にしてください」でもいいと思います。また一度ご検討ください。

委員長：こういう文章を作るにも、本当に一生懸命考えていただいたと思います。子どもたちがこの文章を大事にアルバムにはさんで、アルバムを見るたびにこの文章も一緒に読んでくれるように、大事にするように伝えて欲しいと思います。よろしくお願いします。

#### 第 5 その他

学校教育課長が、小中学校のインフルエンザによる学級閉鎖、及び罹患率の状況について説明する。

閉 会 午後2時2分